

## 第六期長期計画市民会議（第4回）議事要録

- 日 時 平成30年7月25日（水） 午後7時～午後8時30分
- 場 所 武蔵野市役所 601 会議室

### 1 開会

### 2 議事要録の確認

企画調整課長より市民会議第1回～第3回の議事要録の確認を各委員に依頼した。

### 3 議事

#### (1)報告書（案）について

（企画調整課長が資料2に基づき、事前送付した報告書（案）に対する各委員からの意見の紹介と事務局による修正・対応の説明を行った。）

【A委員】1章について、議論の進め方に関する意見がいろいろあったので、その部分をもう少し入れたらどうか。

【企画調整課長】市民会議の進め方への意見について、追加する。

【B委員】意見として、「和暦（西暦）」で統一されているが、長期計画という長いスパンの議論しているのだから、西暦のほうが期間計算しやすいので、長期を見通せば西暦に統一すべきではないか。また「小中一貫教育の在り方検討」の表現は修正すべきではないか。

【C委員】小中一貫教育について、学校教育の建物の建て替えと小中一貫教育の議論は別なので、行財政分野で載せるのであれば学校教育分野には載らないほうがいい。

【D委員】「小中一貫教育のあり方」について議論されたのではなく、「小中一貫教育と学校施設の建て替えを分けて検討してほしい」という議論があった。「小中一貫教育のあり方検討」と述べると、小中一貫教育のあり方に課題があり、それについて話し合われたように読めてしまう。削除したほうがすっきりするのではないか。

【企画調整課長】ご意見のとおり、7ページの「小中一貫のあり方検討」の記載は削除し、8ページの下から5行目の記載は22ページの11行目の記載と同様にする。

（資料に示された各委員からの意見の補足説明を行い、報告書の記載について議論を行った。）

【D委員】「策定委員会に託したいこと」について、自分の主張を200字にまとめるのは困難であったが、この200字の思いを先に載せて、その後、各委員が出したキーワードを並べれば、各々の思いの補足にもなるのではないか。

【B委員】分野別の意見を委員別に分類するのは大変なので、「話したいこと」の字数をもう少し増やす対応ではいかがか。

【E委員】市民会議の位置づけは、策定委員会委員のような専門の方が気づかない点を市民感覚で抽出していくことだと理解している。中長期計画とは、その抽出した施策の底流に流れる思想や理念を施策につなげ議論していくものだが、市民会議の位置づけはそこにはなく、時間の関係もあり、そこまでの議論はしていない。現時点では議論の中で出た類似するキーワードを共通項としてくくり、そこから理念や思想につなげていけるよう、策定委員会に問題提起をすることが今回のまとめではないか。

【F委員】200字の後にコメントを入れ、その人物像を浮かび上がらせるということだと思うが、そのことが策定委員に必要かどうか考えた時には、必要ないのではないかと感じる。もう少し書き足したいという思いはわかる。

【G委員】市民会議の役割は、市民が考えていることを伝えることだと思う。第2回市民会議で議論の順番の話があったが、順番ではなくて市民会議で議論した6つのテーマの分け方が武蔵野市の行政機構の分類に従っており、国と同じ縦割りになっている気がする。横つなぎの大きなテーマの話があってもよかったかと思う。今までの長期計画に載らなかったようなまとめ方があってもよかったのではないか。

【A委員】市民会議から策定委員会に提言することは、策定委員会のメンバーが気がつかないことや、大きなくくりでの話だと思う。市の人口ビジョンや総合戦略、市長の施政方針を踏まえて、長期計画をどうとらえるかという議論をしたかった。報告書の2章では分野別になっていて、なかなか見えてこない。

【B委員】市民会議は限られた時間での議論だったため、一定の結論を得るための討議はしていない。出された意見を分類して列挙するというまとめでいいのではないか。1章は市政全体、長期計画全体についての議論、2章は各分野に関する議論と2つに分ける形でいいと思うが、1章のタイトルを変更したほうがよい。1章は、長期計画全体の位置づけや議論の仕方について、理念やビジョンのもう少し違った形の議論があってもよかったのではないかという意見や、今のままの長計のスタイルでいいのかという意見が出たので、それらを記載すべき。また、いま記載されているコミュニティの問題や住み続けられるまちについての議論は確かにあったが、それを全体の総意として合意形成されているかのような書き方はやめたほうがよい。2章の各分野の議論については、現状通り意見の羅列のままでよいと思う。

【企画調整課長】 市民会議としての提言を策定委員会に伝えるため、何らかの総括的なまとめは必要と考え、このような取りまとめをしたが、特に合意形成に至らなかったことは事実なので、表現は改めていきたい。

【A委員】 2章が分野別で縦割りになっているので、特定の委員の意見であっても分野横断的な横串の意見を1章のどこかに追加してほしい。

【E委員】 一つ一つの意見を取り上げれば正しいと思うが、このまとめに盛り込むことを考えれば、分野別のいろいろな議論があったことと、特別に時間を設けて、市政全体について議論した内容がまとめられていると思うので、これで伝わるのではないか。あくまで策定委員会に伝えるべき本当の骨子だけをまとめて伝えれば十分だと思う。

【C委員】 読み手にどう読まれるかは気になる。市民会議全体の意見だととられかねない表現が少しでもあるのは避けてほしい。合意形成のために討議したわけではないので、個々それぞれの意見の羅列である旨の注意を載せてほしい。

【D委員】 報告書に書かれていることが全体の合意だという受けとめられ方をするのはいいことではないと思うので、長期計画全体に対して出された意見だと提示されるのがよいと思う。

【H委員】 2グループでの話し合いだったこともあるので、1人の委員が使った言葉、たとえば「武蔵野プライド」などは、全体で合意した言葉とは言えない。さまざまな意見があったという形でまとめてほしい。

【企画調整課長】 1章は書かれた事項が合意事項として捉えられないように表現を改める。また、長期計画全体や市民会議の進め方に対する意見を1章に別立てしてわかるように記載する。

【B委員】 1章の前の「市民会議における議論経過について」の記載は、「限られた時間で行われた本市民会議においては、全体としての合意形成は目的とせず、事務局が提示したやり方に沿ってグループに分かれて討議をした」と修正してはどうか。限界があったことを明らかにしておけば、後に出てくる全体に関する意見や各分野に対する意見の羅列について理解ができると思う。

【G委員】 無理にまとめなくてよいと思う。さまざまな意見が出て、その意見を市長に報告するという形でよい。市政全体の議論についてもうまくまとめてもらっているが、分野横断的な議論で出された意見も追加するべきだと思う。

【企画調整課長】 分野横断的な意見については、追加する。

【B委員】 「次世代」という言葉の使い方は注意が必要である。「次世代」を条件なしに使うと、読み手によって解釈が異なる場合があるので誤解を生じかねない。各委員の発言部分ではなく、見出しなどの部分について見直しをしてほしい。

【企画調整課長】第1回会議にて「10年後に向けてありたい姿」というテーマでのグループ討議を提案した。その際に、委員の方から、長期計画は10年であるが、20年、30年先を見据えた議論をすべきといったご意見があり、それから「次世代」という表現を使用してきた経過がある。

【A委員】「次の世代」は読む人のイメージによって変わってしまう。ビジョンなので、少なくとも10年後以降がよいかと思うが、どう表現するか。

【企画調整課長】本日いただいた修正点をもとに最終案を作成し、それに対しての意見をいただく。また、策定委員会に託したいことについて、追加の希望や修正があれば対応したい。

#### 4 その他

今後のスケジュールについて、市長への報告の日程を今後調整すること、平成31年3月12日に策定委員会との意見交換を予定していることについて、企画調整課長より説明があった。

閉会 午後8時30分